

# その席 座り方は人それぞれ



車のドアを開けて後席に乗る…。日常生活でよく見られる光景です。しかし、人によってその一連の流れは様々です。例えば、成人男性の場合は、まず足を車内フロア上に入れて、上半身を少しかがむような姿勢で乗り込みます。スカート履いた女性は、まず車に背を向けてからシートに腰を下ろし、その後、足を車内に入れて乗り込むことがあります。高齢者は、頭から車内に入り、全身が入ってから腰を下ろすことがあります。

この様に、「車の後席に乗る」という動作は、最終的には誰もが着座するとしても、そのプロセスは人それぞれということが分かります。そこで、車の商品特性を研修する際は、まずは自分自身の感覚で観るのはもちろん、年齢、性別、体型、服装…様々な条件が異なる人になり切って観ることもしてみましよう。そうすると、車種別の特性、特徴について、きっと新しい発見があるはずです。

例えば、車に背を向けて、シートに腰を下ろしてから足を車内に入れる女性の動作。これを、成人男性がしてみると、座面の高さによって、全く乗降性が変わってくるのが分かります。座面が高い車がありますが、その場合、成人男性はあまり気にならなくても、女性が後席を多用することが想定されるお客様にはおススメできません。

「お客様目線で車を提案する」のであれば、「お客様になり切って車を観る」という行動を習慣化する必要があるのではないのでしょうか？